

令和2年度保護林モニタリング調査評価等部会の開催概要

1 開催方法

持ち回りによる開催（令和3年3月3日～5日）

2 議 事

- ① 令和2年度の保護林モニタリング調査について
- ② 令和2年度の緑の回廊モニタリング調査について

3 調査結果の概要及び委員からの主な意見

(1) 保護林モニタリング調査

調査結果の概要

シカの被害が最も大きかったのが兵庫県の由良で、前回なかったナラ枯れ被害も今回の調査で確認された。三重県の青岳や鳥取県内の保護林もシカの被害が大きかった。調査結果を踏まえ、次回の調査時期を決定した。

保護林名	所在地	シカの被害	その他の特記事項	次回の調査時期
青岳天然ヒノキ希少個体群保護林	三重県	有		5年後
由良ウバメガシ遺伝資源希少個体群保護林	兵庫県	有	ナラ枯れ	5年後 (ナラ枯れは別途巡視)
摩耶山天然スギ希少個体群保護林	兵庫県	無		10年後
高野山コウヤマキ希少個体群保護林	和歌山県	無	更新不良	5年後
沖ノ山スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林	鳥取県	有		5年後
山王谷スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林	鳥取県	有 (席卷中)		5年後
扇ノ山ブナ希少個体群保護林	鳥取県	有		5年後
野路山ヨコグラノキ・コバノチョウセンエノキ希少個体群保護林	広島県	無	ヨコグラノキ更新不良	10年後
鷹ノ巣山ブナ・モミ希少個体群保護林	広島県	無	ブナ更新不良	5年後
寂地山ブナ・スギ希少個体群保護林	山口県	無		10年後
右谷山ブナ希少個体群保護林	山口県	無		10年後

委員からの主な意見

○調査方法について

- ・ 調査方法を踏査主体に変更したことによって、保護林の状況がよく分かるようになった。来年度以降も問題の予見される保護林を重点的に調査してほしい。
- （意見に対する局の対応）
令和3年度のモニタリング調査についても、昨年度の調査方法をベースとし

て実施している。

○希少種の保護について

- ・生物多様性の観点からは、保護対象種となっているブナやミズナラだけでなく希少な草本植物も重要である。こうしたものも保護の対象に位置づけ、順応的管理を行っていくことが重要。

→（意見に対する局の考え）

旧林木遺伝資源保存林から移行したもの等、これまでの経緯により木本種が保護対象種となっている保護林が多い。保護対象種の生育に必要な森林環境を保護することが、保護林の設定趣旨であるので、管理方針書の「保護の対象」として、保護対象種と一体的な森林環境について包括的な記載を行うことを検討する。

また、モニタリング調査の実施後、特に保護管理が重要と考えられる希少種については管理方針書に追記を行うこととする。

- ・沖ノ山と扇ノ山でシカ被害が顕著であるので、地域ボランティアの協力も得ながら、希少種保護のためのシカ柵の設置等の対策を急いでほしい。

→（意見に対する局の対応）

該当署等と調整を行い、設置対応済み。

- ・モニタリング調査の結果を踏まえ、植生が衰退しつつある保護林については有効な対策を検討すること。

→（意見に対する局の対応）

シカの被害を中心に各保護林の状況を整理するとともに、保護林内での希少種等の保護・保全活動の状況について確認を行った。それらの結果を踏まえて、委員の先生方や他の草本植物に詳しい有識者等にヒアリングを行い、まずは今後優先的に対策が必要な地域個体群や保護林の確認を行う。

○未確認の保護対象種について

- ・山王谷の保護林についてはトチ等の一部の保護対象種が確認できていないため、次回に向けて調査方法の見直しが必要。

→（意見に対する局の考え）

トチ等は保護林内のアプローチしにくい箇所には生育していると思われるため、次回の調査時にはドローン等によるリモートセンシングの活用を検討する。

○その他

- ・現在シカの被害が発生していない保護林は次回調査まで10年間の期間が空くことになるが、その間にシカ被害が急速に進展することも考えられる。何かあった時にすぐ対応できる監視体制にしておく必要があるのではないか。

→（意見に対する局の考え）

中間年となる5年後には、森林官による簡易な現況調査を実施することとなっている。また、近年のナラ枯れやシカ被害の増加も踏まえ、なるべくこまめな巡視の励行を指示するとともに、懸念が報告された箇所については、臨時のモニタリング調査を行い、必要に応じ対策を講じる。

（２）緑の回廊モニタリング調査

令和２年度保護林モニタリング調査評価等部会では、東中国山地緑の回廊における人工林施業の考え方を整理した行動指針案について、意見聴取を行った。

行動指針案作成までの経緯や部会・局内からの意見、それらを踏まえた今後の方向性については「議題１（３）東中国山地緑の回廊の人工林の取扱いについて」のとおり。